

# 国公私3大学環境分野連携 長崎大学×熊本県立大学×福岡工業大学 「第6回環境フォーラム」開催



長崎大学、熊本県立大学、福岡工業大学は環境分野における包括的連携協定を平成26年に締結し、学術研究の発展や学生、研究者の相互交流の推進を目的に毎年「環境フォーラム」を開催しています。6回目となる今年は、9月20日(金)に本学で開催。連携3大学の教員19名、学生42名、職員5名と学外からの参加者2名の計68名が参加し、日頃の研究活動の成果を共有しました。開会に先立ち、社会環境学部長の藤井洋次教授に挨拶をいただき、以降、同学部片岡雅世助教の司会で、3大学若手研究者のシーズ紹介と、学生によるポスター発表の2部構成でプログラムが進行。本学からは、尹諒重准教授が『企業の社会的責任-東洋製罐による環境配慮型容器の開発-』、乾隆帝准教授が『環境DNAを用いたアユの降下・産卵動態のモニタリング』、上杉昌也助教が『避難促進のための防災 Go!プロトタイプの開発』と題して、研究紹介を行いました。続く学生42名によるポスター発表では、各自1分間のフラッシュトークを皮切りに、研究発表がスタート。社会環境学研究科ならびに社会環境学部の学生23名が「環境」をテーマとする研究発表を行い、約2時間に亘って他大学の学生や教員、福岡市の職員と活発な意見交換を行いながら交流を深めました。特に、初めて参加した学部生にとっては大勢の前でのフラッシュトークやポスターの説明など、貴重な学びの場となったようです。



開会挨拶：藤井学部長



司会進行：片岡助教



シーズ紹介：尹准教授



乾准教授



上杉助教



学生による1分間のフラッシュトークの様子



ポスター発表の様子。他大学の先生や学生との良い交流の場となっていました。